

屋根又は天井、壁、床の断熱改修の判断基準

施工地の地域区分 **七ヶ宿町**

基準値となる熱抵抗値の求め方 1÷熱伝導率×厚さ(メートル換算)

構造、構法または工法	部位	断熱材の施工法	断熱材の熱抵抗値【単位：m ² ・K/W】	記号	A-1	A-2	B	C	D	E	F				
				熱伝導率【単位：W/m ² ・K】	0.052~0.051	0.050~0.046	0.045~0.041	0.040~0.035	0.034~0.029	0.028~0.023	0.022以下				
※熱抵抗値を計算する際は、厚さの単位をmに換算すること ・充填断熱と外張断熱を併用している場合にあっては、外張部分の断熱材の熱抵抗値を、充填部分の断熱材の熱抵抗値に加えて、「充填断熱法」とみなすことができます。 ・同一住宅において、複数の種類又は施工法を採用している場合にあっては、それぞれの住宅の種類又は断熱材の施工法に応じた各部位の断熱材の熱抵抗の基準値を適用するものとします。 ・表に記載の「断熱材の厚さ」は目安です。断熱材の熱伝導率によっては、記載の数値より薄い場合でも適合する場合がありますので、確認願います。				熱伝導率【単位：W/m ² ・K】	0.052~0.051	0.050~0.046	0.045~0.041	0.040~0.035	0.034~0.029	0.028~0.023	0.022以下				
				吹込み用グラスウール	13K相当, 18K相当			30K相当, 35K相当							
				グラスウール断熱材		10K相当	16K相当, 20K相当	24K相当, 32K相当							
				吹込み用ロックウール		25K相当		65K相当							
				ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板			4号	1号, 2号, 3号	特号						
				高性能グラスウール断熱材				16K相当, 24K相当, 32K相当	40K相当, 48K相当						
				ロックウール断熱材				マット, フェルト, ボード							
				押出法ポリスチレンフォーム保温板				1種	2種	3種					
				吹付け硬質ウレタンフォーム				A種3	A種1	A種1H					
				A種ポリエチレンフォーム保温板			1種2号	2種							
				硬質ウレタンフォーム保温板						2種1号, 2種2号					
				吹込み用セルローズファイバー				25K, 40K, 55K							
				フェノールフォーム保温板							1種1号, 1種2号				
				木造軸組構法	屋根又は天井	屋根	充填断熱	4.6以上	240	230	210	185	160	130	105
						天井	充填断熱	4.0以上	210	200	180	160	140	115	90
壁	充填断熱	2.2以上	115			110	100	90	75	65	50				
床	外気に接する部分	内断熱、外断熱	5.2以上		275	260	235	210	180	150	115				
	その他の部分	又は両面断熱	3.3以上		175	165	150	135	115	95	75				
	土間床等の外周部	内断熱、外断熱	3.5以上		185	175	160	140	120	100	80				
木造枠組壁工法	屋根又は天井	屋根	充填断熱		4.6以上	240	230	210	185	160	130	105			
		天井	充填断熱		4.0以上	210	200	180	160	140	115	90			
		壁	充填断熱		2.3以上	120	115	105	95	80	65	55			
	床	外気に接する部分	内断熱、外断熱		4.2以上	220	210	190	170	145	120	95			
		その他の部分	又は両面断熱		3.1以上	165	155	140	125	110	90	70			
		土間床等の外周部	内断熱、外断熱		3.5以上	185	175	160	140	120	100	80			
	木造軸組構法、木造枠組壁工法又は鉄骨造	屋根又は天井	屋根		外張断熱又は内張断熱	4.0以上	210	200	180	160	140	115	90		
			壁		張断熱	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40		
			床		張断熱	3.8以上	200	190	175	155	130	110	85		
		土間床等の外周部	外気に接する部分	内断熱、外断熱	3.5以上	185	175	160	140	120	100	80			
			その他の部分	又は両面断熱	1.2以上	65	60	55	50	45	35	30			
			その他の部分	又は両面断熱	1.2以上	65	60	55	50	45	35	30			
		鉄筋コンクリート造等	屋根又は天井	内断熱	5.4以上	285	270	245	220	185	155	120			
				外断熱	6.1以上	320	305	275	245	210	175	135			
				両面断熱	4.0以上	210	200	180	160	140	115	90			
壁			内断熱	2.7以上	145	135	125	110	95	80	60				
			外断熱又は両面断熱	1.8以上	95	90	85	75	65	55	40				
			内断熱又は両面断熱	5.3以上	280	265	240	215	185	150	120				
床			外気に接する部分	外断熱	12.3以上	640	615	555	495	420	345	275			
			その他の部分	内断熱又は両面断熱	2.9以上	155	145	135	120	100	85	65			
			その他の部分	外断熱	5.9以上	310	295	270	240	205	170	130			
土間床等の外周部	外気に接する部分		内断熱、外断熱	3.5以上	185	175	160	140	120	100	80				
	その他の部分		又は両面断熱	1.2以上	65	60	55	50	45	35	30				
	その他の部分		又は両面断熱	1.2以上	65	60	55	50	45	35	30				

断熱材の厚さ(mm)

屋根又は天井、壁、床の断熱改修の判断基準

施工地の地域区分 **七ヶ宿町以外の地域**

基準値となる熱抵抗値の求め方 1÷熱伝導率×厚さ（メートル換算）

構造、構法または工法	部位	断熱材の施工法	記号	A-1	A-2	B	C	D	E	F	
				熱伝導率【単位：W/m ² ・K】	熱抵抗値【単位：m ² ・K/W】	熱伝導率	熱抵抗値	熱伝導率	熱抵抗値	熱伝導率	熱抵抗値
断熱材の熱抵抗値を、充填部分の断熱材の熱抵抗値を加えた上で、「充填断熱工法」とみなすことができます。 ・同一住宅において、複数の種類又は施工法を採用している場合にあっては、それぞれの住宅の種類又は断熱材の施工法に応じた各部位の断熱材の熱抵抗の基準値を適用するものとします。 ・表に記載の「断熱材の厚さ」は目安です。断熱材の熱伝導率によっては、記載の数値より薄い場合でも適合する場合がありますので、確認願います。	断熱材の熱抵抗値 熱抵抗値＝厚さ÷熱伝導率 ※熱抵抗値を計算する際は、厚さの単位をmに換算すること	記号 A-1 A-2 B C D E F	熱伝導率【単位：W/m ² ・K】	0.052~0.051	0.050~0.046	0.045~0.041	0.040~0.035	0.034~0.029	0.028~0.023	0.022以下	
			吹込み用グラスウール	13K相当, 18K相当			30K相当, 35K相当				
			グラスウール断熱材		10K相当	16K相当, 20K相当	24K相当, 32K相当				
			吹込み用ロックウール		25K相当		65K相当				
			ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板			4号	1号, 2号, 3号	特号			
			高性能グラスウール断熱材				16K相当, 24K相当, 32K相当	40K相当, 48K相当			
			ロックウール断熱材					マット, フェルト, ボード			
			押出法ポリスチレンフォーム保温板				1種	2種	3種		
			吹付け硬質ウレタンフォーム					A種3	A種1	A種1H	
			A種ポリエチレンフォーム保温板				1種2号	2種			
硬質ウレタンフォーム保温板								2種1号, 2種2号			
吹込み用セルローズファイバー						25K, 40K, 55K					
フェノールフォーム保温板									1種1号, 1種2号		
木造軸組構法	屋根又は天井	屋根	4.6以上	240	230	210	185	160	130	105	
		天井	4.0以上	210	200	180	160	140	115	90	
	壁	充填断熱	2.2以上	115	110	100	90	75	65	50	
		外気に接する部分	3.3以上	175	165	150	135	115	95	75	
	床	他の部位	2.2以上	115	110	100	90	75	65	50	
		外気に接する部分	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40	
	土間床等の外周部	他の部位	0.5以上	30	25	25	20	20	15	15	
		内断熱、外断熱又は両面断熱	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40	
	木造枠組壁工法	屋根又は天井	屋根	4.6以上	240	230	210	185	160	130	105
			天井	4.0以上	210	200	180	160	140	115	90
壁		充填断熱	2.3以上	120	115	105	95	80	65	55	
		外気に接する部分	3.1以上	165	155	140	125	110	90	70	
床		他の部位	2.0以上	105	100	90	80	70	60	45	
		外気に接する部分	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40	
土間床等の外周部		他の部位	0.5以上	30	25	25	20	20	15	15	
		内断熱、外断熱又は両面断熱	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40	
木造軸組構法、木造枠組壁工法又は鉄骨造		屋根又は天井	壁	4.0以上	210	200	180	160	140	115	90
			外張断熱又は内張断熱	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40
	床	外気に接する部分	2.5以上	130	125	115	100	85	70	55	
		他の部位	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40	
	土間床等の外周部	外気に接する部分	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40	
		他の部位	0.5以上	30	25	25	20	20	15	15	
鉄筋コンクリート造等	屋根又は天井	内断熱	5.4以上	285	270	245	220	185	155	120	
		外断熱	6.1以上	320	305	275	245	210	175	135	
		両面断熱	4.0以上	210	200	180	160	140	115	90	
	壁	内断熱	2.7以上	145	135	125	110	95	80	60	
		外断熱又は両面断熱	1.8以上	95	90	85	75	65	55	40	
		内断熱又は両面断熱	2.3以上	120	115	105	95	80	65	55	
	床	外気に接する部分	3.2以上	170	160	145	130	110	90	75	
		内断熱又は両面断熱	1.3以上	70	65	60	55	45	40	30	
		外断熱	1.8以上	95	90	85	75	65	55	40	
		内断熱、外断熱又は両面断熱	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40	
	土間床等の外周部	外気に接する部分	0.5以上	30	25	25	20	20	15	15	
		他の部位	1.7以上	90	85	80	70	60	50	40	

断熱材の厚さ(mm)